

平成 30 年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	グローバルリーダー育成のためのグローバル課題解決的教育活動:Global Café's Let Girls Learn—世界のジェンダー平等教育・教育機会均等を考え、エチオピアウエジラート地区に我々ができること
実施組織 (または対象のカリキュラム)	工学部
※連携する他学部・機関がある場合は記入	
実施責任者(所属)	藤田あき美 (工学部)
取組の目標	グローバル問題を議論し、議論結果を行動に移す過程で、グローバルリーダーシップスキルと多文化理解に基づく柔軟なコミュニケーション能力の育成。 解決を目指した現実グローバル問題は「エチオピアウエジラート地区では多くの女子が学校に行けない:Let Girls Learn in Wejerat, Ethiopia」。
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期、10 か国のジェンダー問題について議論を展開した結果、我々の解決策は、<u>ウエジラート地区出身の女子大学生の信州大学工学部修士・博士課程進学をサポートし、将来エチオピア農村部女子のロールモデルになってもらうこと</u>、とした。 2. 5/17 清泉女学院大学で Global Café 実施 3. 6/1 エチオピア旧難民のサミラさん講演、食事会@国際交流会館 4. 6/6 神奈川大学とジョイント Global Café 実施(信州大学の取組に影響されて平成 30 年度発足) 5. 6/7 エチオピア大使館訪問: ウエジラート地区女子教育問題への解決法とその計画を発表 6. 7/6 長野高校善光寺サミット参加 7. 7/7 IEEE Professional Communication 学会発表(英語) 8. 7/9 農村部エチオピア女子のお話・絵本読み聞かせ@芹田小学校 9. 8/5 #IAM 私は黙らないワークショップ参加(東京) 10. 8/26 パキスタンジンナ女子大学とインターネットカンファレンス 11. 10/6 Let Girls Learn ワークショップ開催: 広義な意味での教育の場におけるジェンダーを考える(信大各学部, RICOH, NTT, 清泉女学院大学、日本女子大学、パキスタンジンナ女子大学、芝浦工業大学より招待講演者 9 名) 12. 11/11 IEEE WIE Leadership Summit (東京) 学生ポスター発表 (英語) 13. 11/22-24 エチオピアウエジラート高校、メケレ大学訪問: ウエジラート地区出身、女子大学生 9 名の面接を行い、1 名選出。工学部受け入れ研究室決定。 14. 2/9 長野駅東口フェスティバル、Let Girls Learn 物語(劇)発表 15. 2 月 Campfire 募金開始 https://camp-fire.jp/projects/view/126114#menu 16. 2 月長野駅前募金活動開始(毎週日曜日) 17. サポート対象のエチオピア人女子学生と skype 日本語会話レッスン開始(毎週火土 18:00-19:00) 18. 3/1-4 10th Women's Leadership and Empowerment Conference (Thailand) 学生英語口頭発表 19. 3/14 長野ロータリークラブ講演(エチオピア女子学生への奨学金に関する話し合いも兼ねる) 20. 3/20 76.5kHz FM ぜんこうじ出演(発信活動) 21. 3/26 週間長野新聞社取材(発信活動) <p>これらは、学生が掲げた問題への解決に向けての活動であり、日本人学生と多国籍留学生在が国際チームを組み、取り組んできた。文化の違いを尊重しつつ、全員が第 2-3 言語(英語、時に日本語)でコミュニケーションを取り合い、共通のゴールに向かって行動した。詳細は下記 Facebook サイトに記載。https://www.facebook.com/sglobalcafe/</p>

<p>2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望</p> <p>(達成の度合いを選び、そう評価する理由と今後の展望を記述)</p>	<p>a. 達成できた</p>	<p>(評価理由)</p> <p>CEFR 結果から、日本人学生と留学生の、グローバルな環境における、チームとして目的を達成するための英語コミュニケーション力が向上したことがわかった。また、日本人学生対象アンケートによると、すべての日本人学生は Global Cafe の活動を通して自身の発信力が向上したと感じており、その要因として留学生の存在が大きく影響していることがわかった。さらに、平成 30 年度の課題 SDGs#5 ジェンダーに関する議論を通して、参加学生のジェンダー意識が高まったことも述べたい。学生の気づきとして、工学部の男女数の差異も日本社会に根づくジェンダー問題であること、女性のエンパワーメントは男性のエンパワーメントでもあること、などが挙げられる。</p>
		<p>(今後の展望)</p> <p>SDGs #4 教育の質に視点を変え、各国の教育の質に関する議論を展開し、「Let Girls Learn in Wejerat, Ethiopia」に対する、ICT を使用した教育という観点からのさらなる解決法を模索する。Global Cafe を工学部英語教育と国際交流室のグローバルエンジニア育成活動として位置付け、短期-長期留学予定者には参加を必修とし、新 2 年生、特にグローバルコース履修生に、ガイダンスで参加を呼びかける。</p>